

| | | | |
|-----|------------------------------|-----|-------------|
| 提案名 | 「暮らし方 BOOK」から始める住まいの継承プロジェクト | 分野 | その他の分野に係る提案 |
| 提案者 | 株式会社ソーラーサーキットの家 | 種別 | システム提案 |
| 構造 | 木造住宅（在来軸組） | 建て方 | 一戸建ての住宅 |

■提案の基本的考え方

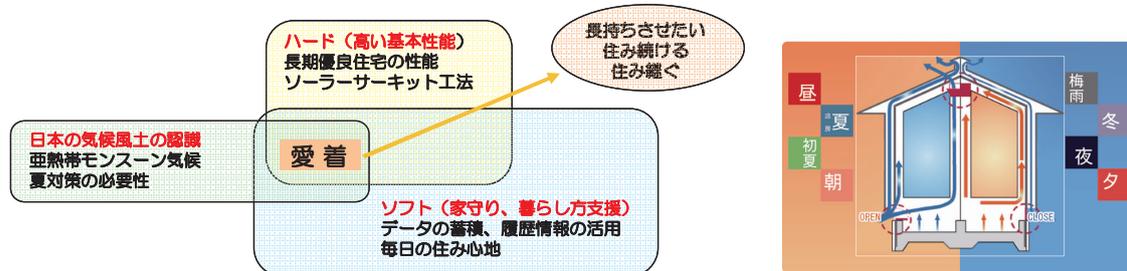
《私たちの組織》

弊社は、温熱環境を主軸とした独自の工務店研修制度と、夏対策に配慮した外張り断熱工法を軸に、全国各地域（北海道・沖縄を除く）の流通事業者のエリア内で工務店をグループ化している。目的を共有する仲間が学びを通じてレベルアップを図りながら、地域の気候風土を重視した住み心地と省エネ性にこだわる住まいづくりを推進する組織である。

《長期優良住宅の考え方》

日本の気候風土は、冬の暖かさの確保は当然必要だが、近年亜熱帯モンスーン気候の様相を呈して、住まいづくりの基本は、夏暑く湿度が高い気候に対する「夏の暑さ対策」がますます必要となってきた。住まい自体の高いスケルトン性能、特に**耐久性**と**温熱環境性能**を持ち、地熱や通風といった**パッシブエネルギー**を利用して省エネ性も実現しながら、日常の快適性や住み心地が大切な家族共に体感できると住まいに対する「愛着」が生まれる。愛着があって始めて、住まいを手入れする習慣を学んで「ずっと住んでいたい、長持ちさせたい」という気持ちになり、そうしたことが、良質な社会ストックの形成に繋がる。

本当の意味の長期優良住宅を日本に根付かせるには、こうした1～2年間の住まい手が**住み慣れていく過程（暮らし方）**への支援を通じて、**住宅の価値を実感できる仕組みの導入**が重要であると考える。



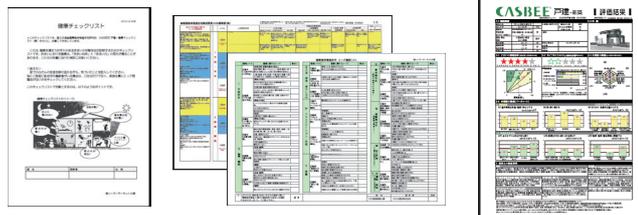
■提案内容

当提案は、設計段階や入居後の、住まい手と工務店とのコミュニケーションを深め、かつ住まい手自身が住まい性能の価値を確認していけるように支援する仕掛けである。

設計段階では、CASBEE健康（案）の**健康チェックリスト（案）**により、今までの住まいの問題点の気づき、CASBEE健康（案）に基づいた**健康維持構成要素マトリックス（案）**により、住まい手とのつくり手とが納得し共感して優先順位をつけて設計をしていくことにより、自分が参加した意識が高まり、「愛着」が生まれるきっかけとなる。

またCASBEEすまい[戸建て]の評価をAランク以上の設計をして、CO2削減や住み心地に寄与する省エネ性能を確保する。

こうしたコミュニケーションツールを利用して、住まい手とつくり手との間で双方の考え方を「上手く伝える」ことにより、住まい手が愛着をもてる住まいづくりの第一歩となる。

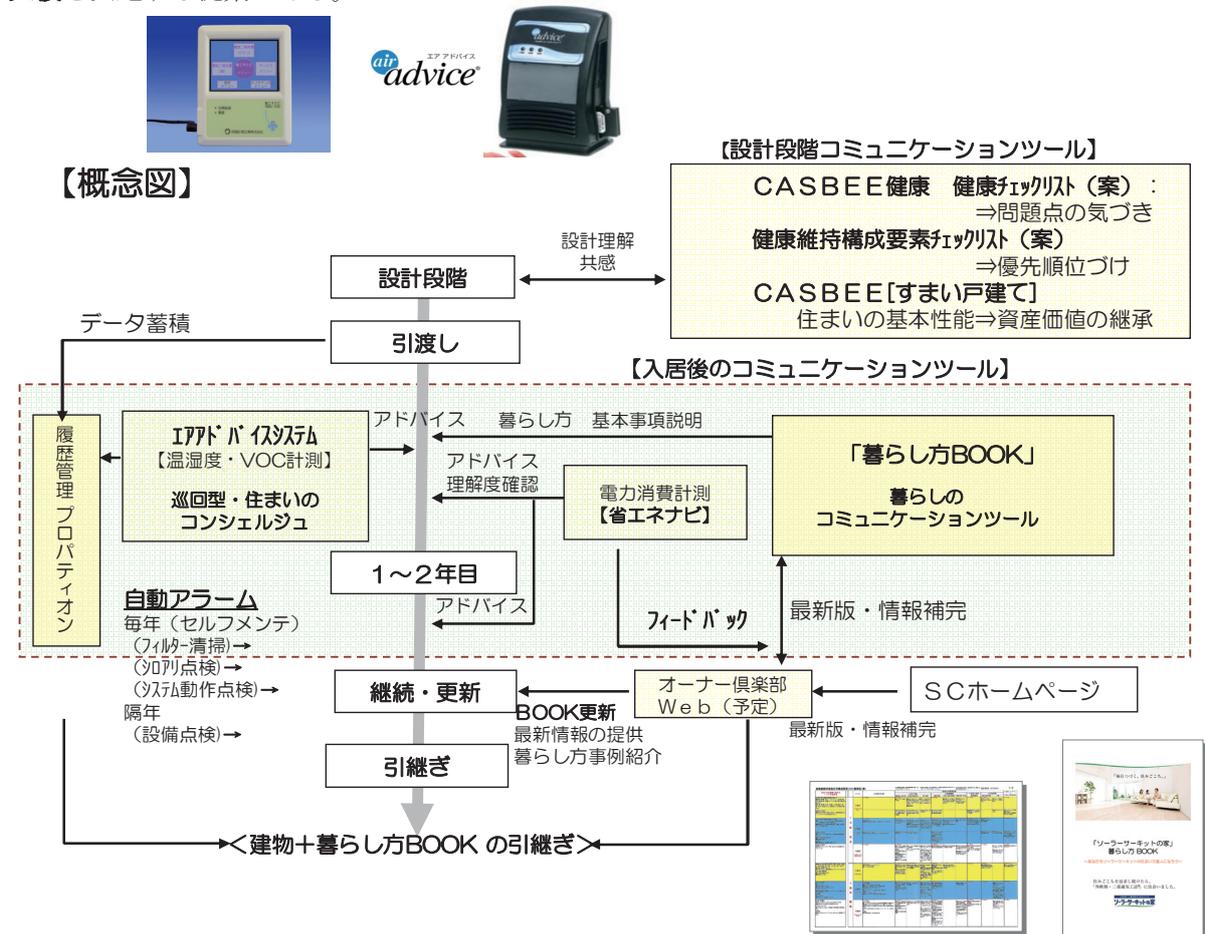


ハード面のスペックは、住まい自体の高いスケルトン性能、特に**耐久性**と**温熱環境性能**を持ち、地熱や通風といった**パッシブエネルギー**を利用する「外断熱・二重通気工法」とSCナビを採用する。これにより省エネ性も実現しながら、日常の快適性、特に夏の暑さ対策で住み心地を実現する。また耐震性能では構造躯体で見逃されがちなコンクリート強度の信頼性を重視し、強度30N/m²のコンクリートを使用し、サンプリング試験も実施する。将来のライフスタイルに合わせた間取りの進化ができるようにスケルトンインフィルの構造として、耐力壁以外は床先行施工で、間仕切壁は後工事とする。

入居後は、省エネナビ、「エアアドバイスシステム」により、室内の温熱データをもとに、「暮らし方BOOK」(案)に基づいて暮らし方の相談アドバイスをする。「エアアドバイスシステム」は、快適な暮らしを持続体感してもらうために、お客様の住まいの空気環境(温度、湿度、VOC等)のレベルの推移を把握し暮らし方のアドバイスをするものです。

また四季に合わせた暮らし方を邸別ごとに巡回し、直接住まい手に説明していく『巡回型・住まいのコンシェルジュ』を整備し実施する。つくり手と住まい手とが、暮らし方を通じて、長期優良住宅を超える価値を共有し、浸透させていく仕組みを提供する。

以上の支援プログラムを通じて住まい手が1~2年間の間、**住み慣れていく過程(暮らし方)**への支援を実施する提案である。



■提案者からのコメント

日本の厳しい気候風土のなかで、日々快適な住み心地を享受するためには、住まい自体の基本性能に加えて、住まい手の「暮らし方」が大きな要素となる。このスキームは、①これからの住まいづくりに求められる「住み心地」という目に見えない性能をつくり手が「上手に伝える力」を身に着けて、②住まい手の快適な「暮らし方」を支援し、③愛着のある住まいを「大切に長く使う」ことができるように住まい手と共に「家守り」をする、ことを期待するものである。今回の採択を機に、日本の住まいづくりの方向性である長期優良住宅の普及を通じて、良質な住宅のストック形成の一助を担うグループとして認識を新たにし、時代の要請に応えることができる住まいづくりに努める所存です。